



創 立 1993年12月1日
 事務局 〒286-0106 成田市取香 500
 ホテル日航成田
 TEL/FAXL 0476-24-5044
 例会場 ホテル日航成田内
 TEL 0476-32-1144

成田コスモポリタンロータリークラブ週報



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021～2022年度 国際ロータリー会長のテーマ
 奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために
 【 会長 シェカール・メーター 】

成田コスモポリタンRCターゲット
 「コロナ禍でも楽しく有意義な
 クラブ運営をめざして」
 [会長：藤崎 康人]

第 1 3 2 3 回 例 会

令和3年7月21日（水）

《ブルーインパルス秘話》

- ◇ 点 鐘 藤崎 康人 会長
- ◇ ロータリーソング 奉仕の理想
- ◇ 四つのテストの歌
- ◇ お客様紹介 元航空自衛隊 第20代航空幕僚長 鈴木 昭雄 様
 成田ロータリークラブ 渡邊 孝 様



- ◇ ニコニコ BOX
 ・藤崎 康人 会長 スピーチ無し

《オリンピックが始まり、本日はソフトボールがオーストラリアにワールド勝ちをしたという事でニコニコ致します。》

- ◇ 会 長 挨拶 藤崎 康人 会長



みなさまこんにちは。
 本日は、鈴木昭雄さま、ようこそ、いらっしゃいました。
 今日、このあと、お話しをお願いしております。
 本日のお話しは、元航空幕僚長、自衛隊のトップの役職をされていた方で、ブ

ルーインパルスのパイロットのご経歴があるとのことで、いろいろ我々が日頃経験できない世界のお話を聞くことができるのではないかと期待しています。

また、メイキャップでお越しの渡辺孝さま、ようこそおいでくださいました。ごゆっくりお過ごしください。

さて、最近、豪雨被害でたくさんの方が亡くなられたり、コロナ禍拡大でオリンピックが無観客になったり、開会式の楽曲担当の小山田圭吾さんが過去のいじめが原因で辞任したりと、明るいニュースが少ないですが、高校野球で少し明るいニュースがありました。

報道によると、鳥取県大会の第1シードで優勝候補の米子松蔭高校野球部は、7月17日、夏の甲子園大会出場を目指し、初戦に挑むはずでした。ところがその前日の16日深夜、学校関係者1人の感染が判明。この感染者と野球部員に接触はない上に、抗原検査を行った部員ら全員の陰性が確認されていたが、大会出場を辞退することになった。鳥取県大会では、学校で感染者が確認され休校となった場合は出場できない規定。ただし、保健所の調査で安全が確認された場合は出場できるとされていた。この規定に則り、保健所と協議した学校が出場辞退を最終決定したため、野球部は戦わずして夏の終わりを迎えた。米子松蔭高校 長崎成輝校長：なんとか出場させてやりたいと思ったが、やはり安全が第一なので、こういう経緯に至った。とのこと。

高校野球の鳥取県の県大会で、米子松蔭高校が、学校関係者のコロナ感染が判明したことにより、試合を辞退しなければならない状況となり、不戦敗となりました。その後、米子松蔭高校の野球部のキャプテンが、「試合もできずに、このまま終わってしまうのは、あまりにも辛いです。何とか出場する道を模索していただませんか？」と悲痛な思いを投稿。鳥取県高野連は19日朝、急遽、会見を実施。学校関係者が新型コロナウイルスの陽性判定を受けた影響で出場辞退となっていた米子松蔭高の不戦敗を取り消し、21日に境高校との2回戦を開催すると発表しました。

会見した県高野連の田辺洋範会長は米子松蔭高関係者などからの嘆願書をはじめ、日本全国からの問い合わせ、文部科学大臣、日本高野連など各方面からの「対応変更」の要請があったことを明かし、「（臨時休業している）米子松蔭高校が7月21日から学校ができるということもありまして、不戦勝となっておりました境高校にもご理解いただき、7月21日に試合を開催するということになりました」と異例の不戦敗取り消しに至った経緯を説明した。

昨年は、全国的に高校野球が中止になり、野球に限らず、いろいろなスポーツ大会が中止になり、悔しい思いをした子供たちやスポーツマンがたくさんいました。今年は、コロナのことがわかってきて、制限付きではありますが、プロ野球を始め、スポーツイベントの入場観客数も5000人までOKとなっています。また、オリンピックでは様々な検査はありますが、コロナ陽性者がチーム内で明らかになっても、いきなり参加不可とはなっていません。今回の鳥取県の高野連の対応の仕方は、昨年、コロナのことがよくわからず、なんでも中止、延期といった考え方に基づいたやりかたが今年もそのままになっていたために生じたのではないかと思います。コロナに関しては、日々明らかになる事実が増え、リスク評価も変化しています。Up to dateな情報の元にいろいろな判断基準も変えていかなくてはいけないんだな、と考えさせられました。何年も練習を積み重ね、今年の夏の試合にかけてきた生徒たちの貴重な大会をその時の状況に合致しなくなったやり方で処理してはいけないと思いました。英国では、今週、コロナに関する社会的制限がかなり撤廃され、サッカー観戦の人数制限もなくなり、テレビ等で、若者が、パブで大騒ぎしている映像が流れていました。早く日本でも英国並みの制限緩和が望まれます。これで会長挨拶を終わります。

◇ 委員会報告その他

無し

◇ 幹事報告 萩原 康宏 幹事



■回覧：ロータリー全国囲碁大会のご案内

風の便り

■例会変更：無し

■その他：ロータリー100周年記念誌のクラブ申し込は7月第4例会まで受付します。

活動計画書の間違いについては来週までご連絡ください。

職業分類データベース登録について飲食業の方についてご案内をしています。

会友の加野泰義様が6月にご逝去されました。

卓話 「ブルーインパルス秘話」

元航空自衛隊 第20代航空幕僚長 鈴木 昭雄 様



長生きをしておりますと人生新たな縁が結ばれて、思いがけない方々との出逢いが出来ます。今日も、皆さんとの出逢いを人生は異なるもの味なもの心から喜んでおります。

さて、マスクをはじめ、オリンピックに対する社会の意識が令和と昭和ではあまりにも違いすぎます。皆で心をつなげて何とか立派にやり遂げ日本の国際的な信頼を少しでも高めようという意識があまりにも薄い、言葉を変えれば、この日本を少しでも良い国にしようひとつになろうとする国民全体の意識が極めて弱くなったと言わざるをえません。これでは戦争の一つと言ってもいいようなこのコロナ禍では戦えないと思うのです。

作家杉山隆男さんの単行本“昭和の特別な一日”の中に、「人間誰にでも記憶に仕舞われている特別な一日というのがある。生きてきた時代によって様々に異なるが、80歳より上の世代にとってその特別な一日のひとつは、間違いなく戦後という時代が誕生した敗戦の日、昭和20年8月15日のはずである。そして65歳以上の日本人の特別な一日のひとつが、終戦の日から19年あまりを経て目覚ましい勢いで復興を遂げた戦後の日本が、自信を得て次のステージに向けて第一歩を踏み出そうとした昭和39年10月10日である。」とあります。東京オリンピックの日です。ほとんどの国民がオリンピックを成功させ自信、心のよりどころを得たいと心から祈り、万般の協力を惜しみませんでした。

作家杉山隆男さんの単行本“昭和の特別な一日”の中に、「人間誰にでも記憶に仕舞われている特別な一日というのがある。生きてきた時代によって様々に異なるが、80歳より上の世代にとってその特別な一日のひとつは、間違いなく戦後という時代が誕生した敗戦の日、昭和20年8月15日のはずである。そして65歳以上の日本人の特別な一日のひとつが、終戦の日から19年あまりを経て目覚ましい勢いで復興を遂げた戦後の日本が、自信を得て次のステージに向けて第一歩を踏み出そうとした昭和39年10月10日である。」とあります。東京オリンピックの日です。ほとんどの国民がオリンピックを成功させ自信、心のよりどころを得たいと心から祈り、万般の協力を惜しみませんでした。

15時10分過ぎ、私はT-33練習機に搭乗して開会式が行われている国立競技場を一望の下に出来る上空にいました。眼下には航空自衛隊ブルーインパルスの仲間がたった今描いた完璧な出来栄の五輪のマークがくっきりと空中に浮かんでいました。五輪のマークを描く為に多くを犠牲にして数え切れない訓練を積み重ね、失敗が絶対に許されない本番で実力以上の最高の出来栄のものを描きあげた5人の仲間の真のプロフェッショナル魂に、心からの祝福と万感の敬意を捧げた一瞬でした。それと同時に、全世界に戦後から十数年経ち日本に再び精強な空軍が存在することを知らしめた輝かしい力強

い一步でもありました。

先の大戦の敗因は「航空戦力が負けたからだ」と責任を痛感していた旧陸・海軍航空出身の先輩達は、我が国の防衛は「周辺空域の航空優勢の堅持にこそある」として、独立した強靱な航空防衛力の再建を合言葉に死にもの狂いでやってきていたのです。いまこの平和であることの素晴らしさを噛みしめ、平和の一翼を支える防衛を一生の仕事に選んだ自分を心から幸せに思った瞬間でもあり、その時まで抱いていた我が国の防衛についてもやもやした気持ちが吹っ切れて、自衛隊で命を捧げようと心に誓いました。私にとってもこの日は“昭和の特別な一日”になりました。

東京オリンピック委員会事務局から航空幕僚監部に調整が入ったのは、開催前年の1963年1月のことでした。当初の打診は、「来年秋の東京オリンピックの開会式の会场上空を、編隊でスモークを引いて飛んでくれないか」というものでした。ところが、当時の松田航空幕僚長の、「どうせやるなら、五輪のマークを描いて見せようじゃないか」という鶴の一声で、「五輪マーク・スモーク作戦」が開始されたのです。組織委員会のオーダーは、「1964年10月10日15時10分20秒ちょうどに五輪を描き始める。位置はロイヤルボックス正面で、五輪のマークの全景が見えるようにしてほしい」という厳密なものでした。もし、当初の組織委員会の打診どおりに単にスモークを引いて上空を飛んだだけでは、歴史的快挙として今日まで多くの場で繰り返し語られてきたようには、航空自衛隊にとって“昭和の特別な一日”にはならなかったと思います。この作戦は世界的にも初めての挑戦でした。

10月10日は天候の特異日の一つであり、一同晴天を期待していましたが、前夜は豪雨で晩酌もそこそこに半分諦めの境地で眠りにつきました。当日の朝、私は天候偵察の飛行を命ぜられていたので、早朝床を出て雨戸を開けると一面に星空でした。昨夜の雨は何処へいったのやら空は晴れ上がっています。夜が明けるにつれて天候は快晴、無風、前夜の雨で空気が洗われたのか視程も良好、いわゆる日本晴れになっていました。横浜上空から、いつもは見つけにくかった開会式場の国立競技場がはっきり見ることが出来た。その瞬間われわれに“天の加護”があると強く感じました。

それまでに事前に5,6回国立競技場上空で訓練する機会があっても、一度も満足するようには描けませんでした。本番では完璧な出来栄の五輪が上空にぽっかりと浮かんでいました。

これまで数え切れない訓練の中でも見たことのない最高の結果を、この絶対に失敗が許されない本番で、しかも実力以上の五輪のマークを描き出した五人の仲間の真のプロフェッショナル魂に、心からの祝福と深い敬意を捧げた一瞬でした。そして同時に、全世界に戦後の日本にふたたび精強な空軍が存在することを知らしめた一瞬でもありました。この2年弱の間、この30秒のために多くを犠牲にして、ひたすら天命を信じて人事を尽くした七人の侍に、天は加護を与え素晴らしい人生の花を咲かせてくれたのであります。全員がすさまじい感動に包まれ、平和であることの素晴らしさをしみじみと思いました。



結局、「感動」することが人生で一番大事なことも知れません。「理動」

という言葉がないことから人は理では動きません。感性が豊かで感動する心があればあるほど、人はいい行動がとれ豊かな人生を歩むことが出来ると思います。

皆さんの人生にも多くの感動の機会が訪れ、“令和の特別な一日”になることを祈っております。

◇ 点 鐘 藤崎 康人 会長

☆ 本日のお料理 メニュー



◇ 出席報告 *メーキャップは前後2週間です。

	日 付	会員数	免 除	出 席	欠 席	M U	出 席 率	補 正 出 席 率
前々回修正	7月7日	71名	5名	41名	27名	2名		61.43%
本日例会	7月21日	71名	5名	34名	32名	5名	54.93%	

・成田コスモポリタンロータリー・クラブ事務局

〒286-0106 成田市取香 500 ホテル日航成田内 TEL/FAX 0476-24-5044

・例会場 ホテル日航成田内 TEL 0476-32-1144 FAX 0476-32-0022